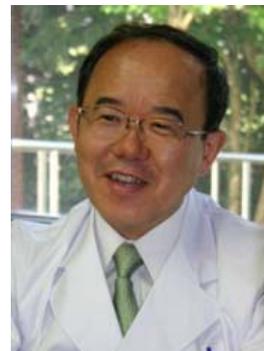


浜松医科大学産婦人科研修プログラム (浜松医科大学医学部附属病院)

1 はじめに

産婦人科には周産期、腫瘍、生殖医療、女性ヘルスケアの4つの大きな柱があります。専門医試験では4分野から均等に出題されません。一方、県内の研修施設を見渡すと単独施設でこれら4分野をカバーしている施設は非常に少ないのが現状です。産婦人科医を目指す方ならどなたにも充実した産婦人科研修を行っていただくため、県内の研修病院の連携が必要となります。



現在、静岡県内の専門研修連携施設は22施設あり、静岡県内のほぼすべてのエリアで研修を行うことができます。浜松医科大学産婦人科学教室がコーディネーターとなり研修内容、研修方法を調整いたします。どの施設も症例が豊富で指導者も充実していますので産婦人科専門医試験までに産婦人科4分野をくまなく研修し、必要な手術症例数、分娩数などをクリアすることができます。産婦人科専門医の取得後にはサブスペシャリティの専門医取得、学位の取得なども支援いたします。産婦人科専門医を目指す方は是非、本プログラムに参加し、各自の夢を実現して頂きたいと熱望いたします。

プログラム統括責任者 浜松医科大学理事 副学長 金山 尚裕

2 目的

浜松医科大学産科婦人科教室では、産婦人科専門医の養成を念頭に置き、日本専門医認定機構の指導の下、専門医資格取得に向けた後期研修プログラムを用意しています。

『専門研修プログラム』では初期研修を終え、産婦人科専攻医として3年間の後期研修を行い、卒後6年目の産婦人科専門医取得を目指していただきます。産婦人科専門医試験の受験資格には、周産期医学、婦人科腫瘍医学、不妊内分泌医学、女性ヘルスケアの4分野にわたり一定数の症例を経験している必要があります。

初期研修を2年間行った後は、産婦人科医としての臨床の基礎を広く修得するため、周産期、婦人科腫瘍、不妊、女性ヘルスケアの症例を偏りなく研修していただきます。指導医のサポートの下、主治医として治療に携わり、専門医に必要な知識と経験を習得することを目指していただきます。当研修プログラムは連携施設が多いため、経験症例の取り合いはなく専攻医への指導も手厚く行うことができます。

3 研修病院群

(1) 専門研修基幹施設

浜松医科大学医学部附属病院

(2) 専門研修連携施設 (22 施設)

浜松医療センター

聖隷浜松病院

聖隷三方原病院

遠州病院

磐田市立総合病院

中東遠総合医療センター

菊川市立総合病院

市立島田市民病院

藤枝市立総合病院

静岡県立総合病院

静岡厚生病院
 静岡市立静岡病院
 静岡赤十字病院
 俵 IVF クリニック
 静岡県立こども病院
 静岡済生会病院

富士市立中央病院
 富士宮市立病院
 静岡がんセンター
 聖隷沼津病院
 沼津市立病院
 伊東市民病院

4 専攻医受入数

平成 29 年度、平成 30 年度の専攻医受け入れ上限は 8 名

5 研修期間

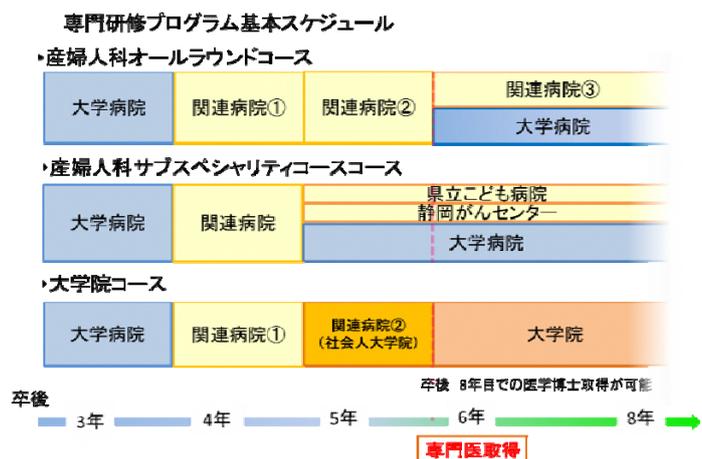
3 年間以上（専門医を取得するまで）

6 研修計画（例）

浜松医科大学産婦人科研修プログラムでは 3 つの研修コースを準備しています。

(1) 産婦人科オールラウンドコース

2 年目（卒後 4 年目）からは研修連携病院群の中から 1～2 つの病院をローテーションします。日本産科婦人科学会専門医を取得し、産婦人科一般を幅広く診療できることを目標にします。手術症例数の多い病院で勤務することが多くなります。産婦人科専門医取得後もこれらの病院で勤務することができます。



(2) 産婦人科サブスペシャリティコース

専門研修 1 年目は大学病院、2 年目は研修関連病院での勤務となり、オールラウンドコースと同様に産婦人科一般の診療を目的とします。専門医取得に必要な症例のほとんどを 2 年間で経験できます。専門研修 3 年目からは浜松医科大学の他にも、周産期専門医取得を目指す場合は静岡こども病院で、婦人科腫瘍専門医取得を目指す場合は静岡がんセンターで研修を行うことも可能です。

(3) 大学院コース

産婦人科専門医取得には産婦人科として 3 年間の臨床経験が必要となります。大学院に入学する場合は卒後 6 年目からとなります。大学院コースでは社会人大学院生として研修病院群に勤務しながら研究を行い、学位論文を作成し、医学博士の取得を目指します。

7 問い合わせ先

〒431-3192

静岡県浜松市東区半田山一丁目 20 番 1 号

産婦人科学講座 浜松医科大学産婦人科専門研修プログラム

Tell 053-435-2309 FAX 053-435-2308